



試合No.	B2	男子準決勝	
会場	マエダアリーナ	日時	平成27年11月8日 10:30

チーム A	18 1st 5	チーム B
福島教員A	63 [9 2nd 24] 71	能代工高
	[16 3rd 26]	
	[20 4th 16]	
	●	○
	OT	

No.	選手氏名	PI-in	2P	3P	FT	PTS	Fouls	No.	選手氏名	PI-in	2P	3P	FT	PTS	Fouls
0	松岡 諒	/				0		4	盛實 海翔 CAP	×	2	1	9	16	
5	加藤 淳也							5	中村 碧杜	×	7			14	4
7	遠藤 心平							6	斉藤 大輔	×	4	1	5	16	1
10	香野 学	×	1	1		5	4	7	小室 望海	×	5		2	12	2
11	長谷川 翔	/		1		3		8	大高 祐哉	×		1		3	1
14	橋本 拓也							9	高畑 陸	/	2	1	3	10	1
17	鈴木 大地							10	金久保 翔						
21	山田 拓也							11	柴田 一真						
22	小川 貴之	×	1	3		11	1	12	阿久津 穰						
25	鈴木 雅之	/		2	4	10	4	13	植村 太一						
30	山口 優太郎	×	1			2	1	14	山田 柊人						
31	熊坂 仁志	×	2		2	6	2	15	児玉 海渡						
32	横山 直仁	/	4		2	10	1	16	山田 魁都						
37	渡邊 朋也							17	長濱 宏治郎						
42	五十嵐 敦至 CAP	×	4			8	4	18	熊谷 弥高						
78	安達 大晃	/	2	1	1	8	2	19	石田 淳						
コーチ	円谷 元康							コーチ	栄田 直宏						
本数			15	8	9	本数			20	4	19				
合計点数			30	24	9	63	19	合計点数			40	12	19	71	9

主審(Referee) 堀内昌浩(宮城) 第1副審(Umpire1) 及川 学(岩手)
 第2副審(Umpire2) 齋藤 新(青森)

テーブルオフィシャルズ 青森北高校

※ ×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー Fouls:ファウル *印はエントリー変更

開始、福島教員はマンツーマンディフェンス、能代工業は2-3のゾーンディフェンスでリズムをつかもうとするものの、お互いリズムに乗れず、約3分得点を取ることができなかった。その後、福島#42五十嵐の連続得点で福島が主導権を握る。能代もプレッシャーディフェンスで相手のミスを誘うが、逆に福島に得点を許してしまう。9点差をつけられ、能代はタイムアウトをとり、マンツーマンプレスディフェンスに変え、相手のペースを崩そうとする。しかし、いいリズムでシュートを打てず苦しい時間が続く。福島はブレイクからのシュートやリバウンドプレーでしっかりと自分たちのバスケットを展開し、着実に点を伸ばす。能代は#6斉藤のバスケットカウントプレーでようやく得点。また、1Q終了時には#6が3Pシュートを決め、次につながる終わり方となった。

2Q開始直後、福島にターンオーバーが目立ち、能代はブレイクで自分たちのリズムをつかみ、中盤に#6のシュートで逆転に成功し、22-23とした。ディフェンスからリズムをつくりたい福島は、しっかりと守りの中からオフェンスのリズムをつかみ、お互い得点を積み重ね27-29と能代工業がリードをして前半を終えた。

3Qは福島#31熊坂のドライブ、#25鈴木の3Pシュートの連続得点で始まった。能代も#4盛實の3Pシュートでくらいつき、一進一退の攻防が続く。能代は徐々に3Pも決まりだし、また、#5中村のインサイドプレーも成功して、終了3分には36-47とした。

4Q、福島#22小川が連続3Pシュートで点差を縮めようとするが、能代はゾーンプレスで速い展開に持ち込み、得点を重ねた。終盤、再び福島のシュートが入り始め、59-62としたものの能代は1on1で仕掛けて点数を離し決勝進出を決めた。